

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

(別紙4)

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年5月26日

## 【評価実施概要】

事業所番号	870101813		
法人名	医療法人社団 正信会		
事業所名	グループホーム すみれ		
所在地	水戸市小吹町3 1 3 5-1 (電話) 029-305-5010		
評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	水戸市千波町1 9 1 8 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成19年10月16日	評価確定日	平成20年5月26日

## 【情報提供票より】 (平成19年9月22日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 1 月 26 日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	17 人	常勤 11人, 非常勤 6人, 常勤換算	4.4人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋モルタル	造り
	1階建ての	~1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,500 円	その他の経費(月額)	5,000 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	250 円	昼食 350 円
	夕食	300 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 円		

### (4) 利用者の概要 (10月16日現在)

利用者人数	27名	男性 8名	女性 19名
要介護1	6	要介護2	9
要介護3	7	要介護4	5
要介護5		要支援2	
年齢	平均 84.1歳	最低 63歳	最高 93歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	美野里病院	御茶園歯科医院
---------	-------	---------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは中庭を広く確保しており、利用者と職員で花を栽培したり、ベンチでくつろぐなど、利用者が穏やかに過ごせる環境づくりに取り組んでいる。医療の分野において、協力医療機関にいつでも相談できる体制となっている。職員は穏やかで温かな笑顔で心のこもったケアを実践している。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回の外部評価で課題となった介護計画書の作成、期間や状態の変化に応じた介護計画の見直し、夏祭りの招待やボランティアの訪問など地域の人々と交流する取り組み課題を改善している。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 職員全員で自己評価に取り組んでおり、その際に評価の意義や日々のケアについて話し合っているため、今後は残された課題等について職員間で検討し、改善するなど更なる取り組みを期待する。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議を1回開催しているが、具体的な話し合いを行うには至っていないので、次回開催時には、ホームのサービス提供の実際や評価の取り組み状況等にかかる議題を決め、報告や意見交換を行うことを期待する。 また、会議に欠席した委員などに報告するため、議事録を作成することを期待する。 市町村担当者と積極的に連絡を取り、事業所の運営や現場の実情を伝え、運営の実態を共有するとともに、サービスの質の向上に取り組むことが望まれる。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族の来訪時に意見や要望を聞き改善に努めているが、面会の少ない家族の意見や要望を聞くまでに至っていないので、家族会の設置や定期的な家族への連絡等で意見や要望を出しやすい環境作りに努めることを提案する。
重点項目③	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の方々が年に数回、ボランティアとして訪問するとともに、夏祭りに招待して交流を持っているが、自治会や老人会等に積極的に参加するには至っていないので、自治会、老人会等へ加入し、地域活動に積極的に参加することが望まれる。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所は「家庭的な環境で、地域との交流をもちながらその人らしく暮らしていけること」を理念に掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を共有するため、職員会議やミーティング等で確認している。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の方々が年に数回、ボランティアとして訪問するとともに、夏祭りに招待して交流を持っているが、自治会や老人会等に積極的に参加するには至っていない。	○	自治会、老人会等へ加入し、地域活動に積極的に参加することが望まれる。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員で自己評価に取り組んでおり、その際に評価の意義や日々のケアについて話し合っている。 前回の外部評価で課題となった、介護計画書の作成や期間や状態の変化に応じた介護計画の見直し、夏祭りの招待やボランティアの訪問など地域の人々と交流する取り組みなどの課題を改善している。	○	今後は残された課題等について職員間で検討し、改善するなど更なる取組を期待する。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を開催しているが、具体的な話し合いを行うには至っていない。	○	次回開催時には、ホームのサービス提供の実際や評価の取り組み状況等にかかる議題を決め、報告や意見交換を行うことを期待する。 また、会議に欠席した委員などに報告するため、議事録を作成することを期待する。
6	9	○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者と連携を図るには至っていない。	○	市の担当者に事業所の運営状況や現場の情報等を伝え、情報の共有を図るなどの取組を期待する。
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族が面会に来たときや電話により、利用者の様子や金銭管理状況等を伝えているが、定期的に行うには至っていない。	○	利用者の日々の様子や事業所の行事、写真等を定期的に報告するための媒体等を検討することを提案する。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の来訪時に意見や要望を聞き改善に努めているが、面会の少ない家族の意見や要望を聞くまでに至っていない。	○	家族会の設置や定期的な家族への連絡等で意見や要望を出しやすい環境作りに努めることを提案する。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者が馴染みの職員に支援等が受けられるよう、職員の異動を最小限に抑えている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者や職員が定期的に研修を受講できるよう調整している。 また、研修受講後に報告書を作成するとともに、報告書をいつでも見られる場所に保管している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者や職員は独自のネットワークにより同業者と交流しているが、事業所間で交流等を図るまでには至っていない。	○	地域の同業者と交流する機会を持ち、共にサービスの質を向上させていく取り組みを期待する。
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用予定者が職員や他の利用者とコミュニケーションを図れるよう、また、ホームの雰囲気に馴染めるよう事前見学などを受け入れている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は園芸の得意な利用者と一緒に花作りをしたり、裁縫を教えてもらうなど、利用者と支えあう関係を築いている。 利用者からの感謝の言葉を気持ちの励みとしている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は利用者と日々のかかわりの中で、利用者の言葉や表情などから、思いや意向を把握するよう努めている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者が自分らしく暮らせるよう、月1回カンファレンスにより話し合い、介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間や状態の変化に応じた見直しを行うとともに、現状に即した介護計画を作成している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の状況、要望に応じて通院介助、買物代行、低料金での出張、理・美容等柔軟な支援をしている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望するかかりつけ医に受診できる体制となっている。 利用者に適切な医療支援を受けられるよう協力医療機関と協力している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者の重度化や終末期の対応は、設置法人と話し合い、対応しない方針となっている。	○	本人や家族等から、希望や要望があったときに検討できる体制づくりを期待する。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを大切にしており、言葉かけや対応に配慮している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は利用者の希望を聞き、自分のペースで生活できるよう支援している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は利用者一人ひとりの力に応じて、食事の準備や後片付け等の手伝いを働きかけている。 また、利用者の好みを把握し、おやつ作りを一緒に行っている。	○	栄養士が作成した献立を提供しているので、利用者の希望する食事を提供できるように検討することを期待する。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は週2回、午前中と曜日や時間帯が決められており、利用者一人ひとりの希望にあわせた入浴を支援するには至っていない。	○	回数や時間帯、清拭やシャワー浴など利用者の希望にあわせた入浴支援が行えるよう検討することが望まれる。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	居室の掃除、洗濯物たたみ、園芸など利用者一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごとができるよう支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホームの中庭で花を育てたり、日光浴等を行っているが、散歩やドライブ等の外出支援が充分ではない。	○	利用者の希望に沿った外出支援に取り組めるよう検討することを期待する。
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	帰宅願望や徘徊傾向のある利用者があるので、安全の為玄関は鍵をかけているが、外からは自由に入ることができる。 家族等には施錠している事の説明を十分に行い理解を得ている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回避難訓練を行っているが、地域の人々に協力を得られるよう働きかけるまでには至っていない。	○	災害時の避難にあたり、地域の人々から協力を得られるよう働きかけることを期待する。 また、非常時に備え食料や用品等を用意するなどの取り組みが望まれる。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの状態に応じた調理や食べる量に配慮した盛り付けを行っている。 また、利用者の食事や水分摂取量を記録している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームは外からの光を自然に取り入れる設計が施され、季節の花をホームの随所に飾るなど、利用者が居心地よく過ごせるよう工夫している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が使い慣れた家具や生活用品を持ち込み、安心して過ごせる居室になっている。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。